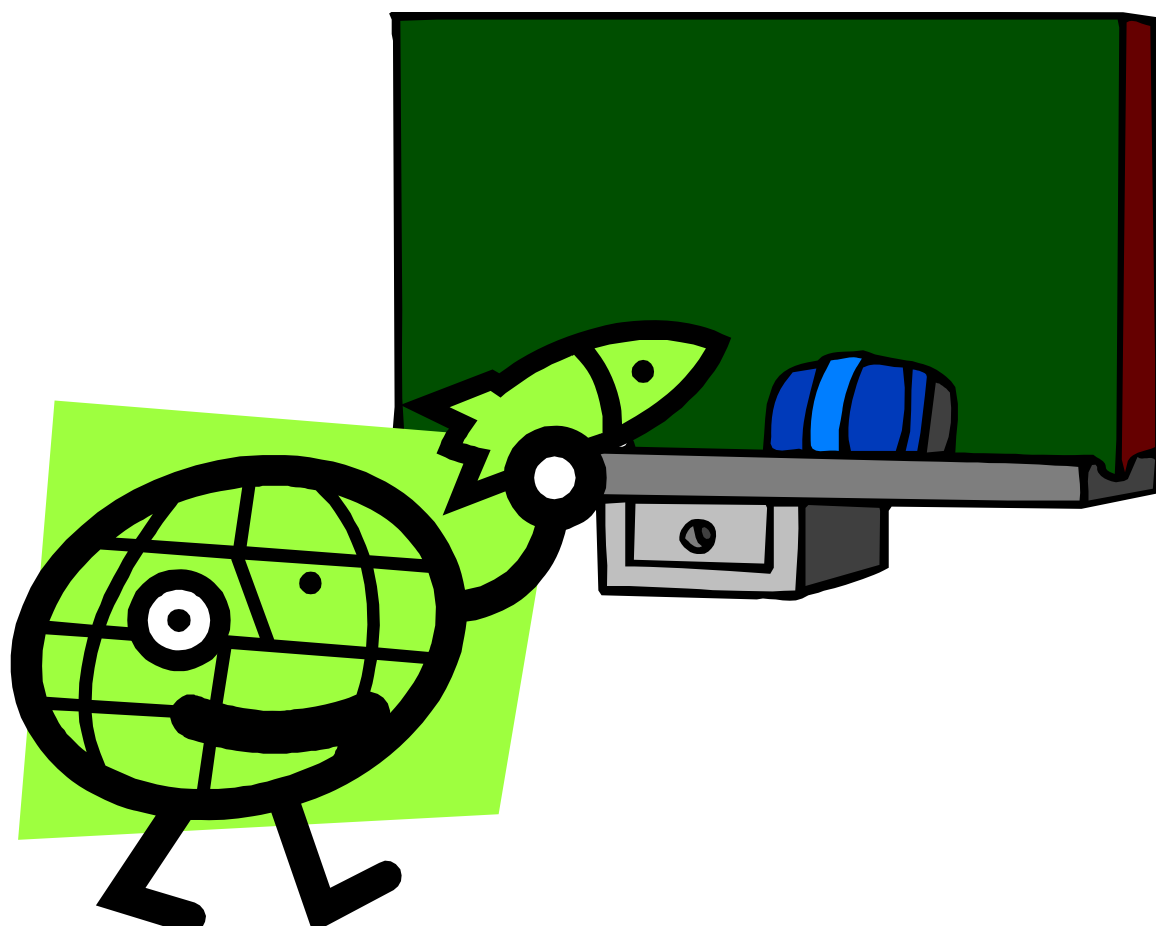


経済学部

ゼミナール紹介



2013

‡ CONTENTS ‡

1. 「演習 I」 応募上の注意 2
2. 専門演習の流れ 3
3. 「演習 I」 の申し込みについて 5
4. 各ゼミナール紹介

企業経済コース

井上 善博	ゼミナール	1 1
近藤 誠	ゼミナール	1 2
竹治 康公	ゼミナール	1 3
常廣 泰貴	ゼミナール	1 4
中村 恵	ゼミナール	1 5
林 隆一	ゼミナール	1 6
三宅 敦史	ゼミナール	1 7
吉見 威志	ゼミナール	1 8

公共経済コース

佐藤 伸明	ゼミナール	2 1
高島 博	ゼミナール	2 2
田宮 遊子	ゼミナール	2 3
西山 茂	ゼミナール	2 4
伴 ひかり	ゼミナール	2 5
毛利進太郎	ゼミナール	2 6
渡部 尚史	ゼミナール	2 7

総合経済コース

石本 眞八	ゼミナール	3 1
岡部 芳彦	ゼミナール	3 2
角村 正博	ゼミナール	3 4
田中 美生	ゼミナール	3 5
中村 亨	ゼミナール	3 6
山上 宏人	ゼミナール	3 7

1. 「演習 I」 応募上の注意

専門演習（演習 I、II、III、IV、卒業論文指導、卒業論文）は、2年次の後期の「演習 I」から始まり、4年次後期の「卒業論文」までの演習形式の科目であり、一般にゼミといわれます。基本的にすべての演習にわたり同一の教員に指導を受けることとなります。専門演習は必修科目ではありませんが、経済学部の学修の根幹であるため、ぜひ受講してください。

経済学部の卒業のための要件の一つとして、4年次に卒業論文もしくは各コースの「特講」（企業経済特講、公共経済特講、総合経済特講）のいずれかの単位を取得することが課されています。卒業論文と各コースの「特講」はあわせて履修することが可能ですが、卒業論文を書くためには、2年次後期以降の演習を履修し、演習 I～IVの単位を修得しなければなりません。演習 I は必修科目ではありませんが、3年次以降の演習や卒業論文執筆のための基本となるものですから、出来る限り全員が受講するようにしましょう。

「演習 I」の履修を希望するものは、以下の注意事項をよく読んで第1次募集に必ず応募してください。申込カードに空欄があったり、写真の不貼付・不鮮明など、書類に不備がある場合は応募を認めません。

1. 「演習 I」は受講人数制限科目です。履修希望者全員に対し履修許可が与えられるとは限りません。
2. 「演習 I」は2年次後期のみ履修できます。再履修は認められません。
3. 配属は各ゼミの定員枠に対し、希望者から選考され決定されます。よって第1希望のゼミ・コースに配属されるとは限りません。第1次募集に応募する際には必ず第5希望まで記入するようにしてください。
4. 第1次募集で定員枠に達していないゼミについては、第2次募集を行います。ただし、第1次募集で応募者が定員に達している場合、第2次募集は行いません。

2. 専門演習の流れ

専門演習は以下のスケジュールに沿って行います。特に「 」の注意事項に注意してください。

[2 年次後期 演習Ⅰ] 2年次前期の選考結果にしたがって各担当教員に配属され「演習Ⅰ」が行われます。

[3 年次前期 演習Ⅱ] 「演習Ⅰ」と同じ教員が引き続き「演習Ⅱ」を担当します。

- 「演習Ⅱ」は履修許可制科目です。
- 「演習Ⅰ」の単位取得者は同じ担当教員の履修許可を自動的に得ることができます。
- ①「演習Ⅰ」を受講していない。②「演習Ⅰ」を履修したが単位を取得できなかった。③他の教員の演習を希望する。①～③の場合でも「演習Ⅱ」の受講申込選考時に申し込めば、履修を許可される場合があります（注1）。

[3 年次後期 演習Ⅲ] 「演習Ⅱ」と同じ教員が引き続き「演習Ⅲ」を担当します。

- 「演習Ⅱ」の単位取得者は同じ担当教員の履修許可を自動的に得ることができます。

[4 年次前期 演習Ⅳ] 「演習Ⅲ」と同じ教員が引き続き「演習Ⅳ」を担当します。

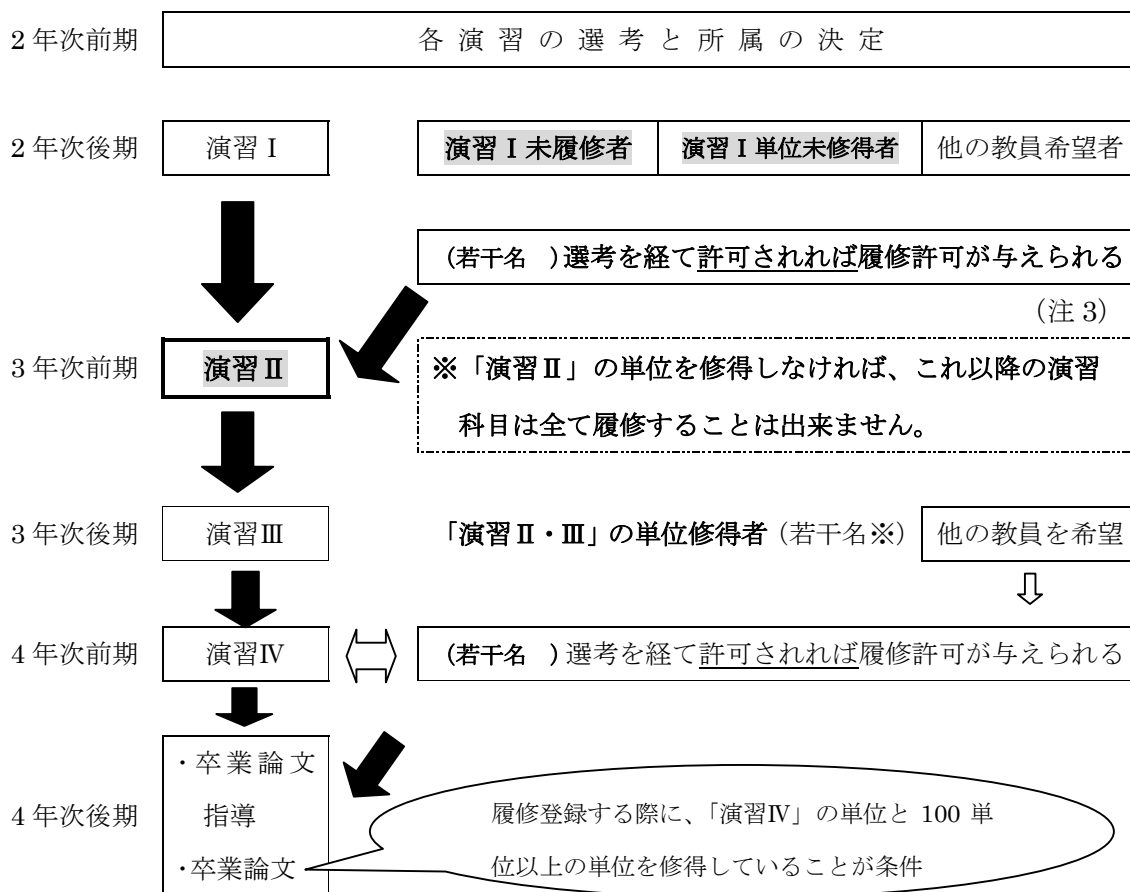
- 「演習Ⅲ」の単位取得者は自動的に履修許可を得ることができます。
- 他の教員の演習を希望する場合、「演習Ⅲ」の単位を取得していれば履修許可が認められる場合があります（注2）。

[4 年次後期 卒業論文指導・卒業論文] 「演習Ⅳ」と同じ教員が引き続き「卒業論文指導」・「(後期履修登録時に、100単位以上単位修得していれば)卒業論文」を担当します。この2つの科目は別々に履修登録しなければなりません。

- 「演習Ⅳ」の単位を取得している場合のみ、同一の教員の「卒業論文指導」を、また修得単位が100単位以上ある場合、「卒業論文」を履修することができます。
- 「卒業論文」については、各教員の評価に加え経済学部としての条件もありますので担当教員の指示に従うようにしてください。

(注1) 3年次での履修許可は、各ゼミの定員枠を考慮し、また各教員による選考を経た後に与えられるので、簡単に履修許可が与えられるものではありません。転出元の担当教員による転出許可と、希望する担当教員の受入許可を得なければなりません。選考の日程等は、掲示で告知しますので掲示には注意してください。なお、担当教員の変更が所属するコースの変更を伴う場合は、特に注意してください。

(注2) 4年次からの演習の担当教員の変更(若干名)については、転出元の担当教員による転出許可と、希望する担当教員の受入許可を得なければなりません。選考の日程等は、掲示で告知しますので掲示には注意してください。なお、担当教員の変更が所属するコースの変更を伴う場合は、特に注意してください。



(注3) 編・転入生については、特別に履修許可が与えられますので教務委員の指示に従ってください。

若干名受け入れについて・・・人数制限の上限に達していない演習クラスのみ。

3. 「演習 I」の申し込みについて

「演習 I」の申し込み及び発表は、下記の日程で行います。注意事項をよく読んで、間違いのないよう**必ず申込期間内に申し込んでください**(原則として許可になった場合の取り消しはできません)。

なお、受講者の決定は当該ゼミナール担当者が選考のうえ行います。

第1次募集

申込期間	: 2013年 5月28日(火) ~ 6月 3日(月)
	9:00~17:00(土・日は除く)
申込場所	: 教務事務室前レポート提出箱に投函すること。
発表	: 2013年 6月18日(火)
発表場所	: 教務事務室前 経済学部掲示板(6号館1階)

第2次募集

第1次募集に応募し、ゼミナール担当者が決まらなかった場合、または、第1次募集に応募しなかった方で希望される場合に申し込みが必要です。但し、第1次募集の段階で定員に達しているゼミナールは申し込みができません。

第2次募集が可能なゼミナールは、掲示によって発表します。

申込期間	: 2013年 6月18日(火) ~ 6月24日(月)
	9:00~17:00(土・日は除く)
申込場所	: 教務事務室前レポート提出箱に投函すること。
発表	: 2013年 7月17日(水)
発表場所	: 教務事務室 経済学部掲示板(6号館1階)

※申し込み注意事項

1. 黒のボールペンで必要事項をもれなく正確に記入すること（エンピツ書きは不可）。必要な事項が記載されていない場合、選考の対象として扱いません。
2. 写真（3cm×4cm）は、裏面に学籍番号・氏名を記入したうえで所定の位置に剥がれないように貼付すること。写真は現像されたもの、もしくは写真専用紙に明瞭に印刷したものにすること。不鮮明なものは選考の対象として扱いません。
3. いったん決定した所属は変更できないので、申し込みは慎重に行うこと。
4. 「演習Ⅰ」の所属ゼミが決定した場合、今年度9月の履修登録の際、必ず忘れずに「演習Ⅰ」の履修登録を行うこと。
5. 申込期日は、厳守すること。

卒業後の進路希望の記入例：

- （業種） 製造業、建設業、公務員など、希望する企業等が行っている業務を書く。
- （職種） 営業、事務など、自分が希望する仕事の内容を書く。

- 演習担当者がゼミ生を選考する時に優先する項目（[交換・派遣留学予定者の受け入れ]を除く）ですので、参考にしてください。

所属コース	選考基準	資格取得者	学内成績	指定する科目の 修得	課外活動経験者	設問	交換・派遣留学予定者の受け入れ
	演習担当者						
企業経済コース	井上 善博						可
	近藤 誠						
	竹治 康公	○	○			○	可
	常廣 泰貴						不可
	中村 恵		○			○	可
	林 隆一					○	不可
	三宅 敦史		○				可
	吉見 威志		○	○			
公共経済コース	佐藤 伸明		○			○	
	高島 博		○				
	田宮 遊子					○	可
	西山 茂						可
	伴 ひかり		○			○	不可
	毛利 進太郎		○			○	
	渡部 尚史	○	○				不可
総合経済コース	石本 眞八		○				不可
	岡部 芳彦		○		○	○	可
	角村 正博		○			○	可
	田中 美生	○	○				不可
	中村 亨		○		○	○	可
	山上 宏人		○			○	可

●「演習 I」の成績評価時に重視する項目です。

所属コース	成績評価方法	出席状況	レポート・小論文	定期試験・小テストの結果	報告・発表の結果	ゼミ行事 (研修・合宿等) への参加
	演習担当者					
企業経済コース	井上 善博	○			○	
	近藤 誠	○			○	
	竹治 康公		○		○	
	常廣 泰貴	○			○	
	中村 恵	○			○	
	林 隆一		○		○	
	三宅 敦史	○			○	
	吉見 威志	○			○	
公共経済コース	佐藤 伸明	○			○	
	高島 博	○			○	
	田宮 遊子	○			○	
	西山 茂	○			○	
	伴 ひかり	○			○	
	毛利 進太郎	○			○	
	渡部 尚史	○			○	
総合経済コース	石本 眞八	○			○	
	岡部 芳彦	○			○	
	角村 正博	○			○	
	田中 美生	○			○	
	中村 亨	○			○	
	山上 宏人	○	○			

経済学科

企業経済コース

井上ゼミナール

1. 演習のテーマ 「偉大な経営者から学ぶビジネスモデル」

2. 演習の概要

皆さんは、会社をつくるとしたらどのような会社をつくりたいですか？

IT系の会社、モノづくりの会社、テーマパークやアニメの作成会社、介護などの社会福祉系の会社などいろいろな夢がひろがります。

自分がやりたいと思う会社をつくるにはどのようなアイデア発想が必要なのでしょうか。新しいビジネスを生み出すためのアイデアをみんなで話し合いながら、ビジネスにつながる種をまいてみましょう。

アイデア発想の先駆者として以下の偉大な経営者のビジネスモデルについて検証してみましよう。

そして、偉大な経営者のアイデア発想を参考にして、自分なりのビジネスプランニング(計画)を策定してみませんか。

- ディズニーワールドのウォルト・ディズニー
- スタジオ・ジブリの初代社長・徳間康快(やすよし)
- iphoneを世界に広めた、アップルコンピュータのスティーブ・ジョブズ
- ソフトバンクの創業者・孫正義
- コーヒーショップチェーンを広めた、スターバックスコーヒーのハワード・シュルツ

3. 受講生への希望

日本の企業や世界の企業の様々な問題について、ゼミの時間に議論していきましょう。皆さんからの積極的な問題提起も大歓迎です。実りのあるそして、楽しいゼミの時間にしましょう。

4. 設問

5. 選考に際して、考慮する資格・特技

特にありません。

6. 特別の評価方法

特にありません。

7. 研究室 : KAC 8号館5階

前期オフィスアワー : 火曜 昼休み (事前連絡:要)

近藤ゼミナール

1. 演習のテーマ 「日本経済研究(マクロ経済学の視点から)」

2. 演習の概要

日本経済を題材にして、現実の経済を分析する実力を養成することを目的にする。具体的には指定文献の輪読等によるマクロ経済学の習得やデータ分析を通じて生きた経済理論を学ぶとともに、必要に応じて講義形式で新たな理論や分析手法の紹介を行う。

3. 受講生への希望

好奇心旺盛な者

4. 設問

なし

5. 選考に際して、考慮する資格・特技

なし

6. 特別の評価方法

なし

7. 研究室 : KAC 8号館7階

前期オフィスアワー : 火曜 昼休み (事前連絡:要)

竹 治 ゼミナール

1. 演習のテーマ 「 株式会社と資本主義経済 」

2. 演習の概要

ミクロ経済学において企業は技術によって特徴づけられる点として取り扱われる。しかし、現実の企業は内部構造を持っており、内部構造の在りようが我々が日々活動する資本主義経済に大きな影響を与えていることは疑いない。演習では、企業のもっとも典型である株式会社の基礎知識から始めて、経済学者、企業経営者、経営コンサルタントなど様々な識者の株式会社に関する議論をフォローすることで資本主義経済とはどのような経済であり、また、未来に向かって経済や企業はどうあるべきかを研究する。

3. 受講生への希望

勉学に限らず、さまざまなゼミ活動やその他の活動に積極的に取り組んでください。

4. 設問

今あなたが一番したいことは何ですか。

5. 選考に際して、考慮する資格・特技

Financial Planner

6. 特別の評価方法

なし

7. 研 究 室 : KPC B号館4階

前期オフィスアワー : 月曜 5時限 [KAC 8号館3階 教員控室](事前連絡:要)

常 廣 ゼミナール

1. 演習のテーマ 「 ミクロ経済学の基礎の修得 」

2. 演習の概要

ミクロ経済学の基礎的な知識や考察方法を身につけることを目標とする。

テキストを輪読するが報告者はテキストの指定された箇所をレジュメにまとめて報告し、それについてゼミ全体で質疑・応答を行うことにする。

3. 受講生への希望

4. 設問

5. 選考に際して、考慮する資格・特技

6. 特別の評価方法

7. 研 究 室 : KPC B号館4階

前期オフィスアワー : 木曜 昼休み[KAC 8号館3階 教員控室] (事前連絡:要)

中村 恵 ゼミナール

1. 演習のテーマ

「日本の企業社会と私たち一企業を知り、仕事とキャリアをたずねる」

2. 演習の概要

本演習では、日本の企業社会及びそこにおける仕事の実際について学習します。企業の組織と構成、仕事とキャリア、労働条件と福利厚生などについて、ビデオ映像などを含めたさまざまな資料を参考にしたり、ディスカッションしたりしながら検討していきます。また、企業経営の分析の仕方についても、中村が独自編集した簡単な簿記教材を使用しながら勉強します。

3. 受講生への希望

「仕事」と「社会」に関心がある人を望みます。

4. 設問

ゼミの志望理由を述べてください。

5. 選考に際して、考慮する資格・特技

なし

6. 特別の評価方法

特になし

7. 研究室 : KPC B号館4階

前期オフィスアワー : 火曜 3時限 [KAC 8号館3階 教員控室](事前連絡:要)

林 ゼミナール

1. 演習のテーマ 「 企業活動(全般) 」

2. 演習の概要

最初は、企業分析のテキスト(「ゼミナール企業価値評価」伊藤邦雄著、日本経済新聞出版社(2007年)を使用予定ですが、必要があれば、講義中に参考書を適宜指示します)を1章ずつ担当者が発表し、その内容を全員で理解し、企業分析の仕方(基礎)を身に付けます。その後、何でも結構ですので、受講生は自ら興味を持つ企業(活動)に応用することで、さらに深く企業の実像を考えるきっかけを作りたいと思います。

林は長年、実際に民間企業(金融関連)に勤務し、企業アナリストとして、製造業全般の多くの業種の企業を担当・分析してきました。その経験を活かし、なるべく実際の(リアル)な企業活動に即した議論を行いたいと思っています。

3. 受講生への希望

林は大学卒業後、19年間(2013年3月まで)、民間企業で働いてきました。大学時代には、サラリーマンのイメージは「毎日、会社に行って、同じことの繰り返しで面白くなさそう」でした。しかし、実際の会社員は、大変なことも多いですが、社内外の色々な人との出会いもあり、自分の世界・視野も広がり、とても充実したものでした。仕事には責任がありますが、権限(自分で考えた方法でやる自由)もあるからだと思っています。今後は、学生みなさんに、働くことの楽しさを伝えたいと思っていますので、一緒に(どんなことでも結構ですので)企業活動に関して興味を持ってください。

4. 設問

(どんなことでも結構ですので自分の興味のある)企業活動に関して、具体的に知りたいこと(企業名でも、企業活動の一部でも、企業の組織の一部でも良い)がある学生を歓迎します。

5. 選考に際して、考慮する資格・特技

現時点での知識や能力は一切問いません。ただし、具体的に何らかの企業活動に関する「興味」を持って、調べる「意欲」のある学生を優先します。

6. 特別の評価方法

平常点(演習での発言等)60%、担当の発表内容40%。演習では基本的に加点主義で評価するため、積極的な発言やユニークな発言・考え方を歓迎します。

7. 研究室 : KAC 8号館5階

前期オフィスアワー : 火曜 昼休み (事前連絡:要)

三宅ゼミナール

1. 演習のテーマ 「 マクロ経済と金融問題 」

2. 演習の概要

近年ではアメリカのサブプライムローン問題に端を発する世界同時不況,ヨーロッパの金融・財政危機など,金融問題がマクロ経済に及ぼす影響を無視することはできません。そこで本ゼミでは,マクロ経済における金融の役割や現在の金融システムが抱える問題及びその解決策などについて勉強します。

演習Ⅰ・Ⅱではテキストを輪読することによってマクロ経済及び金融論に対する基礎知識を身につけ,演習Ⅲ・Ⅳでは各自が興味のあるテーマについてより深く学習し,理解を深めていきます。そして最終的にはそれらを「卒業論文」としてまとめることを目標とします。

ゼミではテキストの輪読だけでなく,適宜日本経済新聞の記事などを用いて出来るだけ最新のトピックについて学習できるようにする予定です。

3. 受講生への希望

マクロ経済に興味がある人を歓迎します。無断欠席はしないこと。

4. 設問

5. 選考に際して、考慮する資格・特技

6. 特別の評価方法

7. 研究室 : KPC B号館4階

前期オフィスアワー : 火曜 昼休み[KAC 8号館3階 教員控室] (事前連絡:要)

吉見ゼミナール

1. 演習のテーマ 「アジアの日系製造業の競争力分析」

2. 演習の概要

アジアの日系製造業の競争力強化を考えるために、以下の順序で勉強する。

- (1) 財務諸表による企業活動全体についての理解
- (2) 原価管理とコスト・ダウン
- (3) 生産管理による納期・品質問題の解決と人材育成問題

(注) 簿記と原価計算の知識が必要になるので、ゼミの中で教える予定である。

3. 受講生への希望

簿記や原価計算は、企業に就職してからも特に必要な知識である。将来、海外勤務で財務諸表を作成することになるかもしれないから、基本はマスターしてもらいたい。

4. 設問

特になし。

5. 選考に際して、考慮する資格・特技

特になし。

6. 特別の評価方法

特になし。

7. 研究室 : KAC 8号館7階

前期オフィスアワー : 木曜 3時限 (事前連絡:要)

経済学科

公共経済コース

佐藤ゼミナール

1. 演習のテーマ 「日本の経済成長戦略:アベノミクスを考える」

2. 演習の概要

○**授業内容** 日本経済が今日抱える諸問題とその対策を学習し、「どのようにして経済成長を実現して行くか」をゼミの基本研究テーマとしています。アベノミクスは金融政策・財政政策・成長戦略からなりますので、本年度以降の演習では、その概要や問題点等について学習します。

テキストや具体的な学習内容はゼミ生の希望や進路に即したものを選びますが、近年ではテキストとして、『ゼミナール日本経済入門』を使ってきました。最初は、日本経済に関する知識修得が重要ですので、この種の本(実際のテキストは未定)の必要箇所を学習した後、配布プリント等で学習を進める予定です。受講生の希望により、最初に、ミクロやマクロの簡単な復習をする場合もあります。

4年次の演習Ⅳや後期の「卒業論文指導」では、ゼミで学習した内容から各自が興味関心のある経済問題やテーマを自由に一つ選んで考察し、卒業論文にまとめます。

○**授業の方法** 学習スタイルとしては、受講生の希望に基づいて担当を決め、テキストを輪読する方法を採用しています。

(注1)公共経済コースに所属するゼミですから、公務員(事務系, 公安系)・公益組織・金融機関への進路を念頭に置いて学習内容・指導方法を選んでいきます。

(注2)当演習では、従来、飲み会のような学外活動はしていません。

3. 受講生への希望

授業中の私語, 飲食, 携帯, 着帽等は規律として認めていません。

4. 設問

自己PRをお願いします。

5. 選考に際して、考慮する資格・特技

なし

6. 特別の評価方法

なし

7. 研究室 : KAC 8号館5階

前期オフィスアワー : 火曜 16:30~18:00(事前連絡:要)

高島ゼミナール

1. 演習のテーマ 「地域づくりと非営利経済活動」

2. 演習の概要

21世紀高齢化社会には、ボランティア経済の活性化と福祉文化産業、「生活の質(クオリティ・オブ・ライフ)」の追求をめざす「サステイナブル・コミュニティ」の思想がなによりも大切である。この研究はまさに「高齢化社会構築へのメッセージ」である。財政学も文化経済学の求めるものは、「何かに生きるかの経済学」であり、マズローの「自己実現欲求」について、人間回復、社会に役立つ人材教育を目的とする。これは、アスペン人文研究所(コロラド州、USA)のめざすものと同じである。「人づくり」重視のゼミナールである。

テキスト:『地域づくりの文化創造力:日本型フィランソロピーの活用』高島博著(JDC出版、2007)

3. 受講生への希望

自己表現のできる人。真面目に出席しゼミ報告がはっきりとした口調で大きな声で自信ある態度で堂々とできること。会社の面接でも役立つように時間内で的確に応答のできる人間づくり(人づくり)の為に努力できる人。毎日、日経、朝日、毎日等の新聞をよく読む習慣を身につける大人として成長する人であること。

4. 設問

世の為、人の為、お役に立つ人間になる勉強を身につけることを、大学における「人づくり」の本質だと思って、立派な人間になることを自覚せよ。

5. 選考に際して、考慮する資格・特技

財政学。毎日新聞をよく読むこと。語学の勉強。元気でハキハキ、すぐに正しく返答のできる人。学問を身につけ、それを仕事に生かし、「社会への奉公心」をもって生々とのびのびと生きる方がこそ、ひたむきな志ある人物なり。何事においてもひたむきに生きる力をもつ人間であること。

6. 特別の評価方法

出席状況と成績とりわけ、きっちりと受け答えができること。人の目をみて大きな声での確かな表現能力をもち、するどい指摘と正しい表現能力を文章表現によって示すことのできる「人づくり」。

7. 研究室 : KAC 8号館6階

前期オフィスアワー : 火曜 昼休み [117A 教室] (事前連絡:不要)

田宮ゼミナール

1. 演習のテーマ 「 貧困問題をめぐる社会政策 」

2. 演習の概要

このゼミでは、社会保障、労働、貧困、ジェンダー、マイノリティに関連する近年の政策動向について学ぶことを目的とする。今年度の演習 I では、特に、貧困問題に焦点をあてる。

演習 I の前半では、指定文献の輪読を行う。その際、学術的な文献の読み方、まとめ方、発表の仕方を勉強する。後半では、各自のテーマを分析するための基礎的な方法論を学習する。具体的には、文献収集の方法、パソコンでの情報処理実習、プレゼンテーションの方法、インタビュー等の調査実習、グループ単位でのゼミ発表を行う。こうした学習を経て、4年次に卒業論文を書くための基礎的な知識、技術を身につけることを目標としている。

テキスト: アマルティア・セン『貧困の克服—アジア発展の鍵は何か』集英社新書
(640 円+消費税)

(参考)これまでのゼミ生の卒業論文テーマ: ホームレス問題の現状と対策、母子世帯の社会保障、イギリスの若年雇用政策、若者の年金制度への意識、外国人労働者が抱える問題、教育格差、高卒就職者の意識調査 等

3. 受講生への希望

週1回だけのゼミとはいえ、しっかり参加し続ければ、大学で学ぶことの楽しさを楽しみ実感する瞬間が必ず訪れる、と信じてほしい学生の参加を希望する。

4. 設問

「貧困問題」と言われて思いつく事柄をいくつでも挙げなさい。

5. 選考に際して、考慮する資格・特技

特になし

6. 特別の評価方法

出席状況、提出課題、ゼミでの発表、議論への参加を総合的に評価する。テストは行わない。

7. 研究室 : KPC B号館4階

前期オフィスアワー : 火曜 昼休み [KAC 8号館オフィスアワー室](事前連絡:要)

西山ゼミナール

1. 演習のテーマ 「マクロ経済モデルによる実証研究」

2. 演習の概要

ゼミナールの目的は実証的計量経済学の基礎を学ぶことです。
次のテキストを使用します。

ポール・クルーグマン／ロビン・ウェルス著 大山道広他共訳

『クルーグマン マクロ経済学』東洋経済新報社 ¥4800

また参考文献として以下の書物をあげておきます。

小川一夫・得津一郎著『日本経済：実証分析のすすめ』有斐社 ¥2800

3. 受講生への希望

出席すること及び演習の目的であるマクロ経済の実証研究に関心をもつこと。

4. 設問

なし

5. 選考に際して、考慮する資格・特技

資格の種類は特に問わない。

6. 特別の評価方法

なし

7. 研究室 : KAC 8号館7階

前期オフィスアワー : 水曜 3時限 (事前連絡:不要)

伴ゼミナール

1. 演習のテーマ 「グローバル時代の経済政策」

2. 演習の概要

テキスト(「ベーシック経済政策」, 山田節夫, 同文館出版, ¥2,730)の講読を通して, 経済政策の基礎を習得すること, 各種経済データをある程度理解できることを目的とする. テキスト担当者は, レジユメの作成と, 他の参加者の理解を深めるような報告をしなければならない. また, 毎回予め決められた担当者は, 経済ニュースを1つ取り上げ説明しなければならない. それをもとに, 現実の経済動向についての資料を作成することを課題とする.

3. 受講生への希望

ゼミ行事(研修, 合宿, コンパ等)は行いません.

4. 設問

国際的相互依存関係の中で, 日本が直面する経済問題を1つ選び, 簡単に説明しなさい.

5. 選考に際して、考慮する資格・特技

6. 特別の評価方法

評価を受けるためには, 原則として7割以上の出席, テキストの割当られた箇所と経済ニュースの報告, および課題の提出が必要である. それらを前提に, 平常点 60%, 報告 20%, 課題 20%で評価する.

7. 研究室 : KPC B号館4階

前期オフィスアワー : 火曜 昼休み [KAC 8号館3階 教員控室](事前連絡:要)

毛 利 ゼミナール

1. 演習のテーマ 「インターネットと社会」

2. 演習の概要

Google や Amazon といったインターネットの新しい企業は、これまでビジネスの枠組みを超えた新しい戦略、サービスを次々に生み出し拡大を続けている。情報処理技術の変革の波は、ビジネスの現場だけではなく個人の行動様式を変えつつある。本演習ではこのようなインターネットが社会に与える影響を探っていきます。

3. 受講生への希望

自ら積極的に取り組んでくれることを期待します。

4. 設問

本演習の志望動機を述べよ

5. 選考に際して、考慮する資格・特技

情報処理関連の資格などがあれば記入すること

6. 特別の評価方法

特になし

7. 研究室 : KAC 8号館6階

前期オフィスアワー : 火曜 3時限 (事前連絡:要)

渡部ゼミナール

1. 演習のテーマ 「 所得税のしくみ 」

2. 演習の概要

演習では、主要な国税(所得税、法人税、消費税)及び地方税について学ぶ。まず演習 I では、所得税制度の仕組みを理解する。所得にはどのような種類があるのか、所得はどのように計算するのか、青色申告制度はどのようなものか、所得控除にはどのようなものがあるのか、所得税の計算はどのように行うのか、所得税はどのように申告して納付するのか、などがテーマである。

ファイナンシャル・プランニング技能検定2級のタックスプランニングの問題が解けるようにすることが演習の目標である。

3. 受講生への希望

FP2級・3級、税理士などの資格を取得して、税に関わる仕事に就きたい学生を歓迎する。

4. 設問

自己PRを書いて下さい。

5. 選考に際して、考慮する資格・特技

なし

6. 特別の評価方法

7. 研究室 : KAC 8号館5階

前期オフィスアワー : 火曜 2時限 (事前連絡:要)

経済学科

総合経済コース

石 本 ゼミナール

1. 演習のテーマ 「身近な問題を経済学的に考える」

2. 演習の概要

アルバイトで収入を得る、電車に乗る、食事をする、服を買う、光熱費を払う、気に入った曲をダウンロードしてMP3プレーヤーで音楽を聴く、テレビを見る、等々、我々の日々の生活は全て経済活動の上に成り立っています。演習 I では身近な問題について、主にミクロ経済学を思考の道具として使い、考えることを目的とします。

3. 受講生への希望

経済学を道具として使いこなす事に興味ある学生を希望します。

4. 設問

5. 選考に際して、考慮する資格・特技

6. 特別の評価方法

特になし

7. 研究室 : KPC B号館4階

前期オフィスアワー : 火曜 昼休み [KAC 8号館3階 教員控室] (事前連絡:要)

岡部ゼミナール

1. 演習のテーマ 「 経済社会で生きる上で必要な知性を磨く 」

2. 演習の概要

このゼミでは、今、日本と世界で起こっている経済・政治・環境などさまざまな問題について学びます。それらを通じて、何事にも興味を持ち自分で考える「知的な好奇心」を養い、これからの人生で必要な知性を磨いてもらえればと考えています。

岡部ゼミでは、基本的に学生主体でゼミ運営を行っており、勉強する内容は年度によって違います。ある学年は、毎回3分スピーチやグループディスカッションを基本にその週に起こったニュースについて議論しました。また別の学年は学期を通じてテーマを決めグループワークを行って理解を深めました。今年もゼミ生の皆さんと相談をして勉強内容を決めようと思っています。

各学期に一度、他大学の姉妹ゼミなどとディベートを行っています。正確に情報分析し自信を持って論じる力と、就職活動や社会人になっても役立つ知識を養うことが目標です。具体的には日本経済団体連合会(経団連)が「大学生の採用にあたって重視する素質・態度・知識・能力」として挙げている「主体性、コミュニケーション能力、実行力、チームワーク・協調性、課題解決能力」を身に着けることです。

また、ゲストスピーカーを各学期にお呼びしています。例としては、海外ファッション企業の日本法人社長やテレビ局の番組ディレクターから外国の元国会議員や神戸市議会議員までと幅が広いのが特徴です。各界の第一線で活躍する人の生の声を聞くことで、日本、そして世界で通じる発想を持ってほしいと考えています。

詳しくは5月21日(火曜日)12:00-13:00の演習1説明会で上映されるゼミ説明のDVDをご覧ください。

3. 受講生への希望

世の中を変えてやろうという人から、データ処理が得意であったり、地味にコツコツ勉強する人まで大歓迎です。このゼミが偏りのない多彩な友人の中で過ごす有意義な時間となればと思います。いい人生を送るための「発見」の時間にしてもらえれば本望です。

なお、2013年5月現在、イギリスのブリストル大学にvisiting research fellow(客員研究員)として在籍中のため、説明会に出られないことをお詫び申し上げます。

なお、現在のイギリスでの生活につきましては経済学部ウェブサイトで「岡部准教授のブリストルダイアリー」が連載中ですので、ご興味がおありの方はご覧ください。

<http://www.eb.kobegakuin.ac.jp/~keizai/v01/keizai/okabe.html>

4. 設問

このゼミを志望した訳と、今一番興味のある話題を教えてください。その他PRしたいことがあればご遠慮なくお書きください。書く欄が足りなければ、小さい文字でお書きいただいても結構です。

5. 選考に際して、考慮する資格・特技

特にありませんが、特技のある方は志望書にぜひお書きください。

なお、ご質問などがある方は以下のメールまでご遠慮なくお問い合わせください。

okabe@eb.kobegakuin.ac.jp

6. 特別の評価方法

特別な評価方法はありませんが、ゼミを運営するのは学生の皆さんです。自分たちでいいゼミを作っていたいただければ。

7. 研究室 : KAC 8号館7階

前期オフィスアワー : なし

角 村 ゼミナール

1. 演習のテーマ 「 観光まちづくり 」

2. 演習の概要

演習のテーマは「観光まちづくり」です。

それぞれの地域が、地域固有の文化や、歴史、自然を生かしたまちづくりをめざしています。ハードからソフトへ、知恵と工夫へと、まちづくりの手法も変化しました。

演習では、まず、下記のテキストを使って、話し方や書き方などプレゼンテーションの技術を学びます。

本間正人・松浦理保『セルフ・コーチング入門』日経文庫、2006年、830円＋税。

齋藤孝『一瞬で伝える「わかりやすさ」の技術』大和書房、2010年、1,400円＋税。

3. 受講生への希望

「観光」や「まちづくり」、「コーチング」などに興味のある人を希望します。

知識はなくても構いません。

4. 設問

角村ゼミを志望する理由を書いてください。

5. 選考に際して、考慮する資格・特技

特になし

6. 特別の評価方法

就活のときと同じく、書類は見た目が勝負です。きれいにとは言いませんが、ていねいに記入してください。

7. 研 究 室 ： KPC B号館 4階

前期オフィスアワー ： 火曜 昼休み[KAC 8号館3階 教員控室] (事前連絡:要)

田 中 ゼミナール

1. 演習のテーマ 「日本経済の“処方箋”を考えよう」

2. 演習の概要

今日の日本経済には問題が山積しています。そのなかから一つ、自分が興味を持てる問題を取り上げ、それについてしっかりと知識を身につけ、問題の現状を知るだけでなく、その原因や、そして何よりどうすればそれが解決できるか、本気で「処方箋」を考えてみませんか。

当演習では、こうした視点に立って演習Ⅰから卒論作成までを段階的にデザインし、自ら学び・考え・行動する学生を育てるトレーニングを行います。

3. 受講生への希望

自ら学ぼうという意欲のある人、「七転び八起き」を信じられる人、責任を持って他の人と協力できる人、を歓迎します。

4. 設問

あなたが、これまでで最も頑張った(あるいは今、頑張っている)ことは何ですか。

5. 選考に際して、考慮する資格・特技

なし。

6. 特別の評価方法

なし。

7. 研究室 : KAC 8号館7階

前期オフィスアワー : 火曜 12:30～13:00 (事前連絡:要)

中村 亨 ゼミナール

1. 演習のテーマ 「 迫り来る難題について大いに議論しよう！ 」

2. 演習の概要

今、我々は多くの難題に直面している。単純な答えや処方箋なんて存在しない。でも深いレベルで議論はなされている。大学生として一步も引き下がることなく、この議論の渦の中に入って行こう。

当ゼミでは、数種類の喫緊のテーマについて、グループごとにテーマを決め、そのテーマの内容について研さんを深めていく。時にはディベート形式で、時には大学対抗のプレゼン大会で発表していく。

この訓練を通じて、自己学習以外にも、チームとして動く最近の企業活動の形態を実践的に学ぶ。またプレゼンテーションの技能を身につけたい学生には是非挑戦して頂きたい。

ちなみに、今年(2013年)の演習Ⅱのテーマは①経済政策としてアベノミクスは可、②経済政策としてアベノミクスは不可、③日本はTPPに加盟すべき、④日本はTPPに加盟すべきではない、⑤新しい農業製品を開発するー農家と企業の架け橋となつてー。昨年のテーマは、金融危機や国の財政破綻の問題でした。各年度のテーマはゼミ生と指導教員が最も関心を寄せるものになる。

3. 受講生への希望

テーマごとに与えられた参考文献をきちんと読み、自分の考えを積極的に述べようと努力する学生を希望します。

4. 設問

自分の際だった特徴(セールスポイント)を1つ述べよ。

5. 選考に際して、考慮する資格・特技

特になし。

6. 特別の評価方法

他大学とのゼミ討論で発表した内容と外部講師による講演会での質問の内容。

7. 研究室 : KPC B号館4階

前期オフィスアワー : 火曜 2時限 [KAC 8号館3階 教員控室] (事前連絡:不要)

山 上 ゼミナール

1. 演習のテーマ 「 グローバル化する世界経済の国際政治経済学的研究 」

2. 演習の概要

国境を越えた経済の統合とマネーの動きは、世界経済のグローバル化とともに地域的統合を加速している。この世界経済のすう勢に対して日本はいかに対応すべきか。

①国際貿易、②対外投資、③国際金融、④人口・食料・エネルギー、⑤地球環境、の5つの分野の現状と課題を、「国際政治と国際経済の相互作用」という視点で、国際政治経済学的に検討する。

3. 受講生への希望

国際経済問題に興味のある学生。

4. 設問

最近の国際経済問題について、興味を持ったことを1つ選んで解説しなさい。

5. 選考に際して、考慮する資格・特技

なし。

6. 特別の評価方法

平常点(60%)、「報告」と「質疑・応答」(プレゼンテーション)(20%)、および「課題レポート」(20%)による。

7. 研 究 室 : KAC 8号館5階

前期オフィスアワー : 木曜 昼休み (事前連絡:要)

MEMO



A large, empty rectangular frame drawn with a blue line, intended for writing a memo.